

令和3年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人 京都社会事業財団	代表者	野口雅滋	法人・ 事業所の 特徴	事業所の理念【「思い」「暮らし」「絆」を支援する】を職員全員が共有し実践できる体制を構築し、利用者の「思い」の実現に向けた支援を目指しています。事業所は長年、地域の人々に親しまれた集会場を改修併設され、地域福祉の拠点となっています。地域行事等、地域の住民協働による活動に積極的に参画し、地域との繋がりを大切に事業運営をしています。
事業所名	京都厚生園松尾の家	管理者	志田彰大		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	1人	1人	人	1人	人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所での取組みが伝わるよう工夫改善を行う。具体的には日々のご家族とのやり取り、ブログなどのツールの活用、広報誌等、取組んだことが相手に伝わるよう可視化を図る。運営推進会議においても報告内容、伝え方の検討と改善を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の活動の様子が伝わるよう、連絡ノートには活動時の様子を写真掲載したり、送迎時や訪問時にできるだけ詳しく様子をお伝えできるよう工夫を行った。ブログは毎月1～2回アップ行った。運営推進会議の開催は書面開催が中心となったが書面での伝え方に苦慮した。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人的なことができていないと意見が多いが、コロナ禍で対応も大変な中よくされていると思う。ご利用者にけがや事故がなければよいのではないかと 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議での報告内容や方法を見直し、取組み内容が伝わりやすくなるよう工夫改善を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 今年度実施できなかった高所清掃、エアコン清掃の実施を行う。 今後も継続するコロナ対策を実施する中でご利用者に居心地が良いと感じていただける環境、設えの検討と実施を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度計画していた場所の清掃はできなかった。感染症対策として室内の配置を変更しながらもご利用者同士が交流できる工夫や個別で過ごせる空間が持てるよう改善を行った。 令和3年度は重度者の受け入れも積極的に行う中で、事業所内での環境整備の必要性を感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者さんの雰囲気や照明の明るさ、スタッフの働いているときの表情など肌で感じることができずしつらえや環境についてはわかりにくい。 室内の配置が変わることで、オープン(開けたよう)に見える。外から見る雰囲気が良くなったと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度実施できなかった高所清掃、エアコン清掃の実施を行う。 ご利用者の状態に合わせながら柔軟に受け入れ、対応ができるよう環境整備を進める。特に各居室のベッド環境を中心に整える。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 「今までの暮らし」「今の暮らし」「これからの暮らし」を事業所だけで共有、考えることはせず、知り得た情報をご家族や介護者等とも共有する。 ご利用者の生活を支援する中で松尾の家が中心になるのではなくご本人を取り巻くご家族、地域の方々と相談検討を行っていく。普段から顔の見える関係を築く。 松尾の家を知って頂くための営業や広報活動の検討・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族との情報共有や検討については積極的に行った。またご本人を取り巻く地域の方々との繋がりも意識し利用開始時に一緒に挨拶に行ったり、ご家族から関わりのある方に連絡を入れてもらうように声掛けや説明ができた。事業所と地域の関係より築いていかないといけない。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報共有はしたい。少し声をかけておいてくれれば自分たちも情報を流せたり、見守りができたりするの地域の方も活用してもらえたらと思う。 地域とのかかわりについては松尾の家と地域との関わりも大切だが、本来は利用者地域を繋ぐ役目を果たすのが、事業所としての役割と考えている。それが最終的に事業所と地域を繋ぐことに繋がると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者を取り巻く地域、今までの関係を意識し事業所がご利用者と地域の橋渡しができるようになる。 ご利用者、ご家族から今までの暮らしや繋がりを聞き、事業所としても一緒に繋がっていく。その中でご利用者を中心とした地域、事業所を含むネットワークができるよう個別事例から取り組んでいく。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の生活を松尾の家で完結しない。ご本人、ご家族、関係してきた地域の方々担っている出来る事、役割は残しながら支援の検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今年度特に意識して取り組んできた。ご本人の困りごとに対して安易に通い、泊まりサービスを導入するのではなく訪問を中心にご本人ができる事、出来ないことを整理しながら、できる事の継続、できないことへの支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が介護をしているときには必死だった。今思うと気づく事が多く「ああしたら、こうしたらよかった」と思う。本人の思いをまず聞いて考えるということはとても大切。 介護者と利用者本人の間に入ってもらってお互いの思いの溝を埋めてもらったり折り合いをつけてもらうことは大変だが、利用者、家族にとっては大変ありがたい存在。 職員が両方の気持ちをカバーしてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ご本人の生活を松尾の家で完結しない。ご本人、ご家族、関係してきた地域の方々との連携、協働を行い、担っている事、役割は残しながら支援の検討を行う。松尾の家がご本人の生活の中心にならない支援を行っていく。 ご本人の意思決定を大切にします。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者とご家族の参加を促し、松尾の家での取組みを知って頂く。 事業所での取組みを知って頂けるよう運営推進会議内容の見直し、資料の改善。ご利用者、ご家族、委員の方々に伝わるように。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者、ご家族の参加を促すことができなかった。 ご利用者、ご家族へ運営推進会議の内容が伝わるような工夫改善もできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議の在り方については委員のみんなはスマホを持っている。ラインでグループを作りビデオ通話などの工夫が必要ではないかとお互いに顔を見て意見を言い合える会議の場がやはり必要。参加者としてはほかの参加者の意見も聞きながら会議ができればよいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご利用者とご家族の参加を促し、松尾の家での取組みを知って頂く。 事業所での取組みを知って頂けるよう運営推進会議内容の見直し、資料の改善。 運営推進会議開催方法の検討(オンラインの活用等)
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の制度改正により義務付けとなる事業継続計画(BCP)の作成、運用に取組む。(災害・感染症共に) 	<ul style="list-style-type: none"> 主に感染症についての策定に取り掛かった。災害については具体的に取組めていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災・災害対策は概ねしっかりされていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度中に感染症、災害共に事業継続計画(BCP)の策定を終える。 特に災害については運営推進会議の場を活用しご意見をいただきながら策定に取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00
	2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田
	2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	9人	1人	人	13人

前回の改善計画
<p>【目標】新規相談から初回受入れ迄に必要な情報収集とチームでの共有を具体的にイメージできるようになる。</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①新規相談から初回受入れ迄の情報収集とチーム内での共有、検討の流れをルール化し明確にしていく。</p> <p>②CM だけが初回受入れ迄の調整をするのではなく、直接支援をする職員も一緒に面談に立ち合い、ご本人の全体像を把握するとともに具体的な支援内容を検討し実行できる仕組みを作る。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 受け入れまでの流れをルール化することまではできなかったが、CM が収集した情報を介護係長が現場職員へ下ろし、支援開始までに受け入れのイメージを持つ動きはできてきている。 新規受け入れ時の面談にはできるだけ現場職員も立ち合い、具体的な支援内容を検討する動きができてきていた。特に訪問支援を中心とするご利用者に対しては面談時に具体的な支援相談や調整ができつつある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	8		1	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	4	9			13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	5	8			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	6	1	2	13

できている点
<ul style="list-style-type: none"> 情報共有や体験利用である程度のご利用者像が把握できている。 書面や記録、他職員からも情報収集しイメージができています。 ご本人のニーズや必要な配慮の共有は事前にできている。 現場職員も面談に同行し、必要な支援や自宅環境のかくにんができています。 全職員に対して支援内容を早期に引き継ぐことができています。 職員写真をお渡ししており、事前にご利用者に安心感を持ってもらう配慮ができています。 利用開始当初からは記録を詳細に入力し情報収集、共有を意識的に行っている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> 勤務状況によっては事前に情報が確認できないまま初回利用の方とお会いすることもあった。 夜勤専従の為、自宅の生活環境や過ごし方を見ることができていない、イメージができていない。 なんとなくの流れはできているが明確にルール化はできていない。 ご利用者の情報は書面にて周知されているが、書面の整理がなされていない。 毎朝のミーティングに参加できていない職員に対しての情報共有が不十分 特に訪問支援においては家族の協力をうまく取り込めていない。職員間での共有や意見交換が不十分

次回までの具体的な改善計画
<p>【目標】新規相談から初回受け入れ迄に具体的な支援の方向性を決め、援助内容の具体化ができる</p> <p>【計画】12カ月</p> <ul style="list-style-type: none"> 初回面接時には介護職員も同席しニーズの把握や具体的な支援内容について確認を行う 初回面接時の情報をもとにチーム内での情報共有と確認をしてきた支援内容について検討と整理を行う。 上記2点を含めた受け入れ迄のルール化を図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00 2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00
-----	---

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田 2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	4人	1人	13人

前回の改善計画
<p>【目標】聞き取った「～したい」を実現できる仕組みを作る。</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①定期的にカンファレンスや協議する場を設け実現に向けての具体的な目標（いつまでに・だれが・何をどうするのか？）を決め実現できる仕組みを作る。</p> <p>②ご本人から聞き取れないご利用者へのアプローチをしていく。ご本人との関わりを意識的により掘り下げたり、ご家族や友人などご本人を取り巻く方からの聞き取りをしていく。聞き取りはCMだけではなく、現場の職員も共に目標の実現に向けて共有し働きかけを行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 定期的にカンファレンスや協議をする場を設け、実現していける仕組みはつくれなかった。 訪問時や通い利用時にお一人の利用者へのかかわりから思いを聞き取ることができていた事例はあった。実際に思いを実現できた方もいるが一部のご利用者であり、取り組みに積極的な職員も一部であった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	0	5	7	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	0	6	6	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	4	9	0	13
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	6	5	1	13

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ご本人のできる、できないではなく、「こういうことがしたい方だからこうしていく」とご本人の意向を尊重した情報交換や共有の場面が増えた。 ご利用の長いご利用者はご本人の得意なことや好きなことは把握実施しやすい。 新しく関わるご利用者は特に積極的に関わり思いを引き出す努力をしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> 目標があっても把握できていないご利用者がいる。 感覚ではあるが、「～したい」と思える、発言できる環境を作ることができていない。 本人の目標が分かっていない。 ご本人の希望を伺ったときには記録にてつなげるようにしている。 定期的に目標やゴールを確認することができてない。

次回までの具体的な改善計画
<p>【目標】ご利用者の「～したい」を知る</p> <p>【計画】12カ月</p> <ul style="list-style-type: none"> ～したいを聞き取った際には記録に残す。ミーティングや職員会議で共有する。 実現に向けて具体的な検討をミーティングや職員会議で行う。 聞き取った～したいという思いを居宅サービス計画書、小規模多機能型居宅介護計画書に反映させる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00
2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00

3. 日常生活の支援

メンバー 1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田
2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	9人	2人	1人	13人

前回の改善計画	
<p>【目標】 気付きや聞き取ったことを支援に繋げられるようにする。 【計画】 12か月</p> <p>①「今までの暮らし」「今の暮らし」「これからの暮らし」を事業所だけで共有、考えることはせず、知りえた情報をご家族や介護者等とも共有し、ご本人を中心にご自宅での生活。松尾の家を含めた24時間365日の暮らしを考え支援に繋げていく。 ②松尾の家がご本人の中心になるのではなく、ご自宅やご本人を取り巻く環境の中に松尾の家があるイメージを持つこと。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<ul style="list-style-type: none"> ・専門職の考えをご本人の生活に押し付けるのではなく、ご本人の暮らしに対する思いをどう実現するかを考え実践をしてきた。結果ご本人が主体性を維持した生活を取り戻した事例があった。 ・十分ではないが、24時間365日の生活を意識した支援の検討実践ができた。 	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	4	6	3	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	10	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	9	2	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	9	0	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	11	0	0	13

できている点	
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人へ思いの聞き取りを積極的に行えている。また知ろうとするよう努力している。 ・気持ちや体調の変化に気づけるよう支援を行っている。 ・ご本人ができることは介助せず見守るようにしている。 ・ご本人に変化があれば記録に残し情報共有に努めている。 ・スタッフ間の情報共有ができています。 ・まず第一にご本人の意見や思いを尊重するようにしている。 	

できていない点	
<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中心がご本人の思い、希望と関係なく松尾の家となっているご利用者が一部いらっしゃる。 ・夜勤専従であったり訪問支援をしていないと本人の暮らしのイメージがあまりできていない。 ・介護者の主観がご本人の思いに反映されてしまっている気がする。 ・以前の暮らし方の把握があまりできていない。 ・ご利用者のできる力（強み）を活かしたケアが十分にできていない。 ・声にならない声に気づけていないのではないか？ 	

次回までの具体的な改善計画	
<p>【目標】 ご利用者が主体性をもって日常生活が送れる。 【計画】 12か月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を考えるときはご本人の意向、思いを1番に確認する。 ・ご本人の強みを見て、小さなことでもできる事は継続してもらう。継続してもらえるように支援を考え実行する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00
2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田
2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	0人	7人	3人	3人	13人

前回の改善計画
<p>【目標】ご本人の生活を松尾の家で完結しない。取り上げてしまわない。 【計画】12か月</p> <p>①ご本人が今繋がっている地域や家族との関係を知ること（ご本人、ご家族から） ②知り得た情報から継続している関係性を途切れさせないような支援を行う。（ご本人ができること、ご家族ができること、地域とつながり、地域が担ってきたことは残しながら、サービス利用の予定やサービス量等を考える。）</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>ご本人と地域の今までの繋がりを知り関係を知ることが一部のご利用者しかできていない。また知り得た情報から地域との繋がりと役割まで考えた支援や取り組みがあまりできていない。ご家族の役割や関係性、ご本人と家族の関係や支援が断ち切れないように、ご家族への連絡や対応の依頼を行い、家族が離れないような調整は心掛けている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	7	5	0	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	7	3	2	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	2	3	7	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	4	4	4	13

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での生活が継続していけるようにできる事はご本人にしている。 ・自宅でのご本人の生活が途絶えないようできるだけ訪問での支援を行っている。 ・職員間での情報共有やご家族との共有が行えている。 ・支援マップからご本人の生活や人間関係を知ることができている。 ・ご本人の習慣を大切にしている。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・松尾の家でご本人の生活を抱えてしまう傾向が強く、ご本人の「今まで」の繋がりを継続できるような支援ができていない。松尾の家で支援が完結してしまっている状況がある。 ・自宅での生活スタイル把握しないままご本人の支援に入っている。 ・ご本人を取り巻く地域資源についての把握が不十分

次回までの具体的な改善計画
<p>【目標】ご本人の今までの繋がりと生活を断ち切らない 【計画】12カ月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご本人が今繋がっている地域や家族との関係を知る、聞くこと（ご本人、ご家族から） ・自宅、地域での生活暮らしをベースに支援を検討、実行する。 ・地域資源について情報収集を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00
2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田
2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	7人	3人	2人	13人

前回の改善計画	
<p>【目標】自分たちの事業所だけで抱えない支援を考え実行すること</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①地域資源を知る。知るために包括支援センターから情報収集を行う。部署内での勉強会を行う。</p> <p>②ご利用者に必要な支援が出てきた際に「ご本人ができること・できていること」「ご家族ができること・できていること」をまず整理する。次に社会資源の活用ができないかを考える。</p>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
<p>・松尾の家で抱え込まない支援を意識してきた。特に新規利用者においてはご本人の強みを見る。本人の持っている力を残せる支援をチームで検討し訪問を中心に支援を行ってきた。</p> <p>半面、社会資源の情報は少なく、活用に対する意識もうすい。</p>	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	7	2	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	4	8	0	1	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6	6	1	0	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	5	8	0	0	13

できている点	
<ul style="list-style-type: none"> ・多機能性を生かし本人の状態やニーズにあわせた柔軟な支援が来ている ・前年度よりニーズに合ったサービスが来ている ・家族を巻きこんでの支援が出来つつあるように思う ・「松尾の家」で出来る事は何かという事を考えるようになった 	

できていない点	
<ul style="list-style-type: none"> ・体制上夜間の訪問は出来ない為、宿泊利用になっている ・地域の資源はあまり活用出来ていない、社会資源の活用がどれだけ出来ているかわからない ・「本人が出来る事」を支援する事、上手く出来ていないと感じる 	

次回までの具体的な改善計画	
<p>【目標】（継続）自分たちの事業所だけで抱えない支援を考え実行すること</p> <p>【計画】12か月</p> <p>①地域資源を知る。知るために包括支援センターから情報収集を行う。部署内での勉強会を行う。</p> <p>②ご利用者に必要な支援が出てきた際に「ご本人ができること・できていること」「ご家族ができること・できていること」をまず整理する。次に社会資源の活用ができないかを考える。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00 2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00
-----	---

6. 連携・協働

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田 2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	3人	4人	人

前回の改善計画
【目標】 地域との繋がり、協働について出来ることを検討し実行する。 【計画】 12ヵ月 ①今までのやり方に捉われずどうしたら何ができるかを考える。 ②考える際には事業所だけで考えることはせず、地域の関係機関や団体の方等にも協力を仰ぎ、一緒に出来ることを模索していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
今までのやり方に捉われずに考え実行する視点や姿勢は持つことができていた。地域の関係機関や団体の方へ協力を仰ぐことはできなかったがつながりは継続できるよう努めた。コロナ渦という状況でなかなか事業所を見て頂く機会が持てなかった半面、ブログは毎月1～2回は更新し事業所での活動の様子や近況をお伝えすることを続けることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3	3	1	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	4	2	6	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	2	5	6	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	2	5	6	13

できている点
・子供たちが外で遊んではいる ・書面ではあるが運営推進会議の実施 ・サービス機関や自治体、地域包括センターとの会議にはCMが参加し、連携や情報共有も行っている。 ・ブログを頻繁に更新して情報発信出来ている

できていない点
・今年度はコロナで地域の活動やイベントも開催されていないので参加出来ていない ・コロナ等により交流の機会はほぼ持てない状況

次回までの具体的な改善計画
【目標】 これからの地域との繋がり方を再検討、再構築する。 【計画】 12ヵ月 ・今までのやり方や考え方に捉われずこれからの地域との繋がり方を検討し実行する。 検討する際には運営推進会議委員や地域包括支援センターからも助言をもらう。 ・地域ケア会議等、地域との繋がりが持てる機会や場には積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00 2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00
-----	---

7. 運営

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田 2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人	5人	2人	13人

前回の改善計画
<p>【目標】 地域の方からの意見や提案をいただき、今後も協働していくために出来ることを検討し実行する</p> <p>【計画】 12か月</p> <p>①地域包括支援センターから地域の状況やニーズを伺い、事業所としてできることを考え実行する。</p> <p>②運営推進会議の場や今までの地域の方との繋がりから今後の協働や事業所のあり方についてご意見をいただき出来ることを考える。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>包括支援センターとは日々の情報交換や毎月1回は事業所の状況報告と包括からのニーズや意見を聞く機会が持っている。運営推進会議では事業所の運営や今後の在り方等についてご意見を頂く事はできたが、実行にまで移せていないことが多い。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか？	1	7	4	1	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	2	9	0	0	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	5	4	3	13
④	地域に必要なとされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	4	4	4	13

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝のミーティングや職員会議で意見や発言ができている。 ・苦情対応の記録の閲覧が出来る ・利用者や家族へは満足度調査を実施。日々の支援の中でもご意見があれば聞き取り改善するようにしている ・包括との連携がとれている

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に地域と協働した取組みは行えていない ・地域からの意見等直接聞く事がない ・苦情を苦情として気付いていない場面もあるかもしれない

次回までの具体的な改善計画
<p>【目標】（継続）地域の方からの意見や提案をいただき、今後も協働していくために出来ることを検討し実行する</p> <p>【計画】 12か月</p> <p>①地域包括支援センターから地域の状況やニーズを伺い、事業所としてできることを考え実行する。</p> <p>②運営推進会議の場や今までの地域の方との繋がりから今後の協働や事業所のあり方についてご意見をいただき出来ることを考える。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00 2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00
-----	---

8. 質を向上するための取組み

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田 2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	2人	7人	2人	2人	13人

前回の改善計画	<p>【目標】 継続して訪問援助時のリスクを学ぶと共に訪問援助の質を向上する。</p> <p>【計画】 12か月</p> <p>①訪問援助時のリスクについて整理し部署内で共有、学ぶ場を設ける。</p> <p>②訪問援助時の手順の見直し、整理を行う。</p>
---------	--

前回の改善計画に対する取組み結果	<p>訪問援助においては実践から必要な研修を部署独自でも行い、質の向上にとりくんだ。</p> <p>ご利用者ごとに訪問援助マニュアルを作成し会議やミーティングでも振り返りや検討を繰り返し行い、訪問援助において職員の能力向上にも取り組んだ。</p>
------------------	---

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	5	5	2	1	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	3	2	4	13
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	4	7	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	2	1	13

できている点	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援の手順の作成と見直し。 ・感染症対策への取り組み ・職場内で介護技術研修等、訪問援助に必要な研修の実施を行っている ・リスクマネジメントについては職員間で話し合ったり振り返りを行っている
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連絡会への参加はできていない。 ・外部研修などの参加の機会がなかった。 ・リスクについて皆で共有出来ていない部分がある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<p>【目標】 継続して訪問援助時のリスクを学ぶと共に訪問援助の質を向上する。</p> <p>【計画】 12か月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部研修も活用し学ぶ機会をもつ ・訪問援助マニュアルの見直し
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	1回目：令和3年12月3日（金）14：00～15：00 2回目：令和3年12月17日（金）14：00～15：00
-----	---

9. 人権・プライバシー

メンバー	1回目：鈴木 佐藤 横山 大東 平田 志田 2回目：松浦 山内 野澤 池田 志田
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	3人	9人	1人	0人	0人

前回の改善計画
【目標】 個人情報、プライバシーへの配慮、環境整備、ルール作り 【計画】 12か月 ①書類管理のルール化 ②書類が管理しやすくなるための環境整備 ③情報共有や申し送り場所、方法の検討
前回の改善計画に対する取組み結果
ルール化までは図れなかったが、特に事務所内の書庫やデスクの個人情報管理については整理を行うことができた。情報共有や申し送り場所においては日々声を掛け合い意識はしているが、ご利用者に見える、聞こえる場所での共有、申し送りがなされていることがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	11	2	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	3	9	1	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	7	0	3	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7	0	0	13

できている点
<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報、プライバシーへの配慮や研修の実施。情報共有場所の配慮 ・身体拘束や虐待、利用者の嫌がる事はしていない ・ケアの方法については振り返りを行い、拘束等人権の侵害されていないか共有を図っている ・身体の事はもちろん、言葉でも否定するような言葉を使わない様になっている ・環境整備は日々取り組んでいる。ルール作りは完成していないが行動は出来ている

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> ・フロアで個人情報のやり取りをしてしまっていることがある。 ・鍵付きの書庫であるが施錠はされていない ・個人情報を書いたメモをカウンターに置き忘れていた時がある ・制度の活用を持ちかける事がない

次回までの具体的な改善計画
【目標】 身体拘束、虐待防止、個人情報について部署内で考える、振り返る場を持つ。 【計画】 12か月 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に身体拘束等適正化委員会 高齢者虐待防止等対策委員会の開催 ・個人情報への配慮について定期的に職員会議で振り返り、対策を検討する。